

お天気解説 アキラのズバツと

エルニーニョ現象と冬

令和8年10月2日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

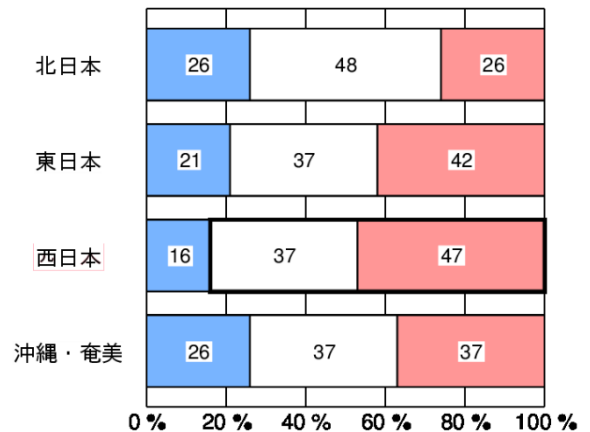
先日、寒候期予報（冬についての予報）が気象庁から発表されました。大規模なエルニーニョ現象が冬の天候にどう影響するのか注目されています（エルニーニョ現象については前号で解説しています）。エルニーニョ現象は日本から見て地球の反対側の現象ですが、日本列島の天候にも大きな影響を及ぼしています。

これまでの統計によると、エルニーニョ現象が発生している冬は、東日本では暖冬になりやすい傾向です。冬型の気圧配置が続かないため、日本海側では雪が少なくなり太平洋側では雨が多くなりやすいです（右図参照）。

1997/1998年冬は大規模なエルニーニョ現象が発生した冬でした。東京都心では降水量が多く、1月は122.0mmと平年の2倍もの降水量でした。この時はたびたび南岸低気圧が通過し、大雪が1月8日・15日と2回降り、総降雪量は32cmとなりました。雨が多い冬に寒気が下りると、雪になることもあります。

先日発表の予報によると、この冬の気温はエルニーニョ現象で寒気の影響が小さいため、平年よりも高くなる確率が60%です。降水量は低気圧の影響を受けやすいため多くなる確率が60%という予報です。いかにも暖冬ですね。こんな冬、皆様はどう過ごしますか？

エルニーニョ現象が発生しているときの
平均気温 <冬> 低い 並 高い



エルニーニョ現象が発生しているときの
降水量 <冬> 少ない 並 多い

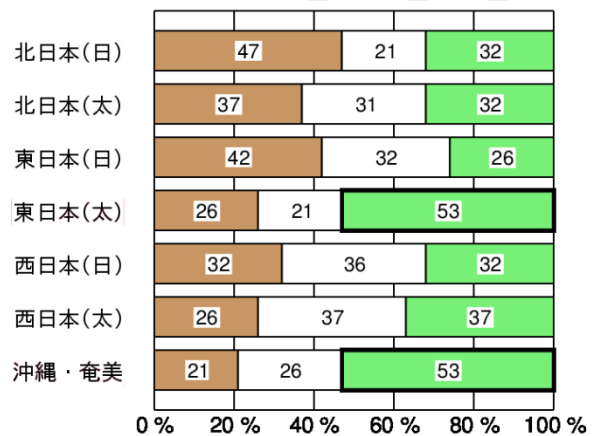


図 エルニーニョ現象発生時の冬(12~2月)の
天候の特徴(気象庁 HP より一部加工)
日:日本海側 太:太平洋側

2026年10月02日11時 気象庁 発表

日付		今日 02日(金)	明日 03日(土)	明後日 04日(日)
東京地方		雨後曇 	晴時々曇 	曇時々晴
降水確率(%)		-/-/30/20	0/0/0/0	20
信頼度		-	-	-
東京 気温 (°C)	最高	22	25	23 (22~26)
	最低	-	18	17 (15~18)

東京地方の週間天気予報

(気象庁HPから抜粋)

秋雨前線が離れ、ようやく晴れる週末になりそうです。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。